



鴻巣といえば、ひな人形と花。  
その歴史が感じられる場所がありますか。



鴻巣の伝統産業といえばひな人形。

鴻巣は、ひな人形のまちとして約380年の歴史を持ち、江戸時代には関東三大ひな市（鴻巣・越谷・江戸十軒店）のひとつに数えられるまでになりました。

なかでも鴻巣雖は、その質の高さが話題を呼び、江戸の職人たちは、こぞって鴻巣に修行にやってきましたといえます。人形地区には、現在も多くのひな人形店が軒を連ね、往年の隆盛を今に伝えています。

また、鴻巣の伝統産業のもう一つの柱である「赤物」。これは、魔除けの色とされる赤色を用い、かつて恐れられた病“天然痘”除けとして、こどもたちを守るための玩具を製作する技術であり、国指定の重要無形民俗文化財となっています。

## 赤物



これら伝統産業を伝承する拠点として、また観光拠点として「ひなの里」があり、二大伝統産業である人形と赤物の製造工程の展示、主要産業である花の紹介、観光情報の発信、さらには休憩場所として、鴻巣の魅力を市内外に発信しています。



ひな人形と花と赤物のまち。  
鴻巣の伝統が体感できますね。

